

平成28年6月教育委員会定例会 会議録

平成28年（2016）6月28日（火）午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	本 田 恵 子
教育委員(委員長職務代理)	松 浦 剛 司
教 育 委 員	下 手 泰 子
教 育 委 員	小豆澤 貴 洋
教 育 長	槇 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長（教育政策課長）	小 山 裕 美
教育部次長（学校教育課長）	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	山 本 利 明
保 育 幼 稚 園 課 長	坂 本 伸 仁
学 校 教 育 課 主 査	佐 藤 協
児童生徒支援課課長補佐	松 井 博 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

1 人

開会

（**本田委員長**）只今から、平成２８年６月出雲市教育委員会定例会を開会します。
本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

１．出雲市教育委員会感謝状の贈呈

（**本田委員長**）それでは、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。小山教育部次長に進行をお願いします。

（**小山次長**）只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。
本日、感謝状を贈呈する方は、アイ・ねっと株式会社 代表取締役 石原俊太郎 様でいらっしゃいます。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申しあげます。

（ご功績の紹介）

それでは、本田教育委員長から感謝状を贈呈します。皆様、ご起立ください。委員長、前へお願いします。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。

「アイ・ねっと株式会社 代表取締役 石原俊太郎 様。」

（**本田委員長**） （感謝状と記念品を贈呈）

（**小山次長**）石原様、席へお戻りください。それではここで、石原様からご挨拶をいただきます。石原様、よろしくお願いします。

石原俊太郎 様 ご挨拶

（**小山次長**）石原様、ありがとうございます。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。どうぞ拍手でお送りください。

２．会議録の承認

（**本田委員長**）それでは会議録の承認に入ります。５月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

（**各教育委員**）ありません。

（**本田委員長**）特に意見等ありませんので、５月定例会の会議録については承認といた

します。

3. 教育長行政報告

（本田委員長）次に、行政報告について、榎野教育長に報告願います。

（榎野教育長）（以下、報告項目のみ掲載）

（１）前回以降の動向

H28.5.25 同和教育・啓発推進協議会総会・研修会
H28.5.26 県教育施策説明会
H28.5.27 中国都市教育長会理事会（倉吉市）
H28.5.28 県教職員協議会定期総会
H28.5.31 校長の会議
H28.5.31 自治協会等合同会議
H28.6.1 出雲地区租税教育推進協議会
H28.6.1 保幼小連携推進委員会
H28.6.3 市奨学事業運営委員会
H28.6.6 市議会初日 ～6.27
H28.6.7 学校給食会理事会・評議員会
H28.6.9 市議会一般質問 ～6.13
H28.6.15 市原子力施設安全対策協議会
H28.6.17 市議会文教厚生常任委員会
H28.6.22 市議会予算特別委員会
H28.6.23 教頭会総会
H28.6.27 市議会最終日
H28.6.28 定例教育委員の会議

（２）今後の予定

H28.6.30 学校保健会理事会
H28.7.1 社会を明るくする運動メッセージ伝達式
H28.7.1 校長の会議
H28.7.3 科学館特別講演会
H28.7.5 学校訪問 ～7.6
H28.7.7 教育政策審議会①
H28.7.8 市P連役員との懇談会
H28.7.10 参議院議員選挙
H28.7.12 教育政策審議会②
H28.7.14 教育政策審議会③
H28.7.21 県重点要望

H28.7.25 都市教育長会研修会

H28.7.26 定例教育委員の会議

(3) 6月定例市議会

(1) 一般質問

○勝部順子議員

1 教育現場での熱中症予防対策について

近年、クラブ活動中の熱中症事故が学校側の過失となるケースが相次いでいます。夏季の高温日数の増加に伴い、6万人近くの方が熱中症の症状になり、4万人前後の人が救急搬送されています。政府は、7月を「熱中症予防強化月間」に定めて注意喚起を呼びかけています。これからの猛暑に備える準備が必要です。特に、学校現場での対応が重要です。

- ①クラブ活動中の熱中症予防と対策はどのようにされているのでしょうか。
- ②最近増加している高温多湿な校舎内での室内で起こる「かくれ脱水」にも注意が必要ですが、これへの対応はどうなっていますか。
- ③全国では、暑さ対策として、小中学校の体育館に冷水機を設置されて対応されている学校も増えています。出雲市内の幼小中学校の状況を伺います。

2 幼小中学校のトイレの洋式化の現状と推進について

生活環境の向上により、住宅や公共施設、商業施設など殆どが洋式トイレに改善されてきました。とても快適な生活スタイルになってまいりました。しかしながら、学校現場ではまだ和式トイレの所もあるのが現状です。学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす場であります。また、災害時には地域の方々の避難場所に利用されることにもなります。

- ①現在の設置状況（幼・小・中）
- ②設置計画について

○小村吉一議員

再び学力調査（学力テスト）について問う

- ①市は今年度より学力調査（学力テスト）を行った。国の学力調査、県の学力調査を含め、その実施の状況を伺う。また、今後も同じような形で実施するのか伺う。
- ②市による学力テストを実施することとした理由は何か。また、学力テストの業者を決めた経過と理由を伺う。
- ③学力向上推進リーダー（15名）が置かれているが、その職務内容とそれによって得られたものは何かを伺う。
- ④市が学校教育で求める”出雲の子ども像”は何か。また、学力テストにより平均点の向上を目指す取り組みとの関係を伺う。
- ⑤繰り返される通年悉皆学力テストは教職員や学校の自主的、創造的な教育活動を萎えさせる（学校の塾化が進む）と考えるがどうか。

(2) 文教厚生常任委員会

- ①第3期出雲市教育振興計画の策定について
- ②学校再編の状況について
- ③平成27年度出雲市立小中学校における問題行動等について
- ④出雲市学校給食センター第二次再編整備検討委員会報告について
- ⑤学校給食地産地消推進事業の実施状況について

(本田委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

4. 議事

(本田委員長) それでは、議事に入ります。「議第16号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の任命について」を、教育部 小山次長 に説明願います。

(小山次長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、議第16号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 特に質疑等がないようですので、議第16号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(本田委員長) ご異議ありませんので、議第16号については承認します。

(本田委員長) 次に、「議第17号 平成28年度出雲市立教育研究所研究員の任命について」を、教育部 安井次長 に説明願います。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、議第17号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 特に質疑等がないようですので、議第17号について、承認してよろし

いですか。

（各教育委員） 異議なし。

（本田委員長） ご異議ありませんので、議第 17 号については承認します。

（本田委員長） 次に、「議第 18 号 出雲市市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の任命について」を、保育幼稚園課 坂本課長 に説明願います。

（坂本課長） 資料に基づき説明。

（本田委員長） 只今の、議第 18 号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） なし。

（本田委員長） 特に質疑等がないようですので、議第 18 号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（本田委員長） ご異議ありませんので、議第 18 号については承認します。

5. 報告

（本田委員長） それでは報告事項に入ります。報告（１）「6 月定例市議会への提出案件について ①補正案件」を、教育施設課 金山課長 に説明願います。

（金山課長） 資料に基づき説明。

（本田委員長） 只今の、報告（１）について、何か質問等はありませんか。

（本田委員長） ないようですので、次に、報告（２）「第 3 期出雲市教育振興計画の策定について」を、教育部 小山次長 に説明願います。

（小山次長） 資料に基づき説明。

（本田委員長） 只今の、報告（２）について、何か質問等はありませんか。

（松浦委員） 委員に選ばれる方は、地域性も考慮してバランスがとってあるものですか。

（小山次長） バランスよくお出かけいただけるよう、考慮しています。

（松浦委員） 斐川町の方もいらっしゃいますか。

（小山次長） 下手委員さんはもちろんですが、大場委員さん、土江委員さんがいらっしゃいます。また、年代も配慮いたしまして、今回は少し若い方にも入っていただいています。30歳代が3名、40歳代が5名、50歳代が4名、60歳代が3名です。7名の方が新しい委員さんです。

（松浦委員） 30歳代が3名というのは、以前と比べると大分若返られましたね。ありがとうございました。

（下手委員） 政策審議会では、有識者評価もあって、この教育振興計画の素案をつくるのとは、どういうバランスで行われますか。

（小山次長） 例年、有識者評価を4回ぐらい行っていただいています。前半のところで集中して評価していただきまして、8月の後半ぐらいから、市長から諮問を受けた今回の計画策定の方に入っていただきたいと考えています。

（本田委員長） ほかに質問は、ありませんか。下手委員さん、引き続き、よろしくお願いします。それでは次に、報告（3）「平成28年度 出雲市保幼小連携推進計画について」を、教育部 安井次長 に説明願います。

（安井次長） 資料に基づき説明。

（本田委員長） 只今の、報告（3）について、何か質問等はありませんか。

（松浦委員） 在宅就学予定は、どれぐらいの数ですか。

（安井次長） 90人ぐらいです。

（松浦委員） その人たちは広報いずもを見るだけで、見逃したらわからないということですか。何か通知が行くということは、ありませんか。

（安井次長） 個別通知までは、今考えていません。あまり希望がないようであれば、場合によっては、声がけをするかもしれません。今募集中なので、お問い合わせいただく期間になっています。

（本田委員長） 確か、在宅就学予定児の方の名前は、把握しておられるということでしたよね。でも、90名の方に個別の案内はされないのでしょうか。

（安井次長） いえ、募集中なので、お問い合わせいただく件数が少なければ見逃されている可能性もありますので、声がけはしようと思っています。

（本田委員長） この日を逃したら、在宅就学予定児の方が入学までに、小学校などに行く機会がありますか。

（安井次長） 就学前の健康診断の案内はありますが、いろいろ見て回ったり、児童に連れて歩いてもらったりということになると、難しいかもしれません。学校が受入をするということであれば、対応はできると思います。

（本田委員長） わかりました。ほかにありませんでしょうか。

（下手委員） この保幼小交流の日は、同日ではないですか。

（安井次長） 同日です。昨年から、同日一斉開催にしています。それぞれの保幼小にご理解いただいています。たまたま去年は、インフルエンザで高浜小ができなかったり、佐香小が統合のために久多美で行ったということはありません。今年集約していますが、どことも18日で実施をすると聞いています。

（本田委員長） 最初、同じ日の開催ということで、小学校の側から、なかなか予定がつかねるという声を聞いたこともありますが、会が重なるごとに小学校でも保育園でも幼稚園でも、意識や理解が高まってきて、この事業がいい方向で進んでいると思っています。先ほどの在宅就学予定児の方、今まで家におられていっぺんに集団生活に入られるということで、どちらかと言えばこういう方のほうが、きめ細かい配慮が必要ではないかと思われます。この保幼小交流の日に、なるべく全員が参加なさって、滑らかに小学校生活が始められるようになると思います。その点、通知も含めまして、しっかりお願いいたします。

（安井次長） 貴重なご意見をいただきましたので、応募されないところにはすべて、声がけをさせていただこうと思います。

（本田委員長） お願いします。

（松浦委員） 忙しくて、あまり広報を読まない家庭もあるので、広報だけでお知らせするのはどうかなという気持ちもあり、積極的にしていただいたほうがいいと思います。

(小豆澤委員) 子どもが今年、小学校1年に入学しましたが、確か去年、「お父さん、僕、学校へ行くんだよ」と言ってくれたことがありました。このことだったんだと、今更ながらにわかりましたが、反面、小学校のお兄ちゃんからは何も聞かなかったので、学校に行って、そうしてお兄さんたちが連れて歩いてくれるということだと思いますが、うちのケースだけで全然関係ないかもしれませんが、小学校の子どもたちにもそういった意識付けというものが芽生えたと、またさらにいいものになるだろうと思いました。

(槇野教育長) 学校によっていろいろですが、どの学年とペアで活動するかについては、割と5年生の子が、今度入ってくる子どもたちとペアになることが多いし、1年上級の今度2年生になる子がパートナーをしているところもあります。なかなか全体との交流というわけにはいかないものですから、ほかの授業をしながら、特定の学年とペアとなって学校の案内をしてもらったり、一緒に活動をするというのが多いです。

(本田委員長) ほかにありませんか。次に、報告(4)「出雲市学校給食センター第二次再編整備検討委員会報告について」を、学校給食課 木代課長 に説明願います。

(木代課長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、報告(4)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) こうやって統合されると、佐田とかは遠いところから運ばれるようになりますが、そういうことに対して、地域の方からご意見はありませんでしたか。

(木代課長) 今、出雲センターから上津小学校へ運ぶのと、距離的にはほとんど変わりません。ただ、佐田の小中学校については、今の配送体制で十分なのか、それとも別に配送車を新たに導入しなくてはいけないのかについては、今後考えていきたいと思っています。地元の方からは、まだそういった意見は聞いておりません。

(小豆澤委員) 栄養教諭の減員により、食育活動が後退するという懸念をされているというのは、具体的にどういう心配をされていますか。

(木代課長) 栄養教諭は今、各センターに一人ずつ配置されています。基準がありまして、3,000食までは1人、3,000食から6,000食までは2人、6,001食以上は3人と決まっています。例えば湖陵ですと、湖陵小学校、湖陵中学校と湖陵幼稚園、この3校を1人の栄養教諭が回って指導しています。これが先ほどの基準によりますと、給食センターが基準の元になっていますので、出雲のセンターに統合してしまうと、佐田、多伎、湖陵の給食センターがなくなってしまって、出雲のセンターが仮に1万食になろうと2万食になろうと、栄養教諭は3人しかいないということになります。そういうことから、佐田、多伎、湖陵の学校では、食育活動がおろそかになってしまうのではないかとということが懸念されています。現在は例えば給食の時間等に、栄養教諭

が各学校を回りまして、給食の食べ方とか、今日の食材はこういったものがありますよとか、家庭科や養護教諭の先生と一緒にいろいろな勉強したりしています。

(小豆澤委員) 活動の回数を減らすことになりますね。

(木代課長) そういうことになります。

(本田委員長) 栄養教諭は今、市内に11名いらっしゃいますか。

(木代課長) はい。

(本田委員長) どの程度まで減ることになりますか。

(木代課長) 単純に考えますと、佐田、多伎、湖陵に1人ずつおりますので、マイナス3ということになりますが、加配という制度が県にありまして、その加配を県に要望していくことになります。

(本田委員長) 加配の、何か条件とか要件とかありますか。

(木代課長) 例えば5,000食であれば2人という基準ですが、学校の数が30校あるとなかなか回っていけない、そういったことを県にお願いをして、今も平田でも出雲でも、1人ずつ加配をいただいております。

(本田委員長) ぜひ、強く要望していただいて、加配していただけるようお願いします。ほかにありませんか。

(本田委員長) 次に、報告(5)「学校給食地産地消推進事業の実施状況について」を、学校給食課 木代課長 に説明願います。

(木代課長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) この地産地消事業が、ここまで丁寧に行われていることが、学校の子どもたちには、知識としてどのように伝わっていますか。

(木代課長) 学校では、昼休みに校内放送で、献立はこういうもので、その食材は例えば出雲市で採れた野菜ですよとか、あるいは毎月献立表を保護者に配りますが、その献立表には、出雲市の野菜ということを明記します。それと出雲ケーブルテレビで、栄養教諭が番組に出演してPRもしております。

（下手委員） 昨年、教育政策審議会で給食を食べさせていただきました。本当に地元の食材ばかりでしたが、お米はどうですか。斐川は給食用に作ったりしていますが、出雲市ではどうですか。

（木代課長） 斐川は合併する前から「米米（まいまい）田んぼ」ということで、給食用に地元の方が作っておられます。出雲になりますと規模が大きいために、そういうことになりませんので、出雲市産のコシヒカリを指定して、業者から納入していただいています。

（小豆澤委員） 地元産という中で、障がい者支援施設さんも農業や生産活動の取組もされていて、いわゆる法定雇用の関係でもいろいろな取組が求められる中で、直接雇用などに取り組む以外にも、そういう参画の仕方もあると思いますが、そういう支援施設などからの調達はあるのでしょうか。

（木代課長） センターでは毎年1回、登録指定業者の公募をしております。2月ぐらいに広報で、給食センターに野菜等を納められませんかという募集をかけています。そちらに応募いただきますと、条件といたしますか、例えばトイレは生産現場から何メートル以上離れていなければいけないとか、市税の滞納はいけないとか、そういったいろいろな条件がありまして、かつ出雲保健所から衛生チェックがありまして、その衛生チェックに合格していないといけない、というようなことがあります。そういうことをクリアして応募していただければ、納めていただくことは可能です。

（小豆澤委員） 以前、自衛隊さんともそういうお話しをする機会があったので、そういうことが出雲市のほうで先に広がっていくと、さらにいいのかなと思います。

（本田委員長） ほかにありませんでしょうか。

6. その他

（本田委員長） 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 小山次長 に説明をお願いします。

（小山次長） 資料に基づき説明。

（本田委員長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） なし。

（本田委員長） その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

（各教育委員） なし。

7. 次期教育委員会の開催時期

（本田委員長） 次期教育委員会の日程ですが、7月26日（火）の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会6月定例会を閉会します。

（15:00）定例教育委員会閉会